馬の学校通信

2013. 6 vol.50

発行　馬の学校

事務局　〒468-0007　愛知県名古屋市天白区植田本町 3-1105-302　TEL/FAX:052-805-2920

E-mail：mine@horseschool.org　　ホームページ：http://www.horseschool.org

夏のプログラムについて

諸事情により、夏のプログラムは全てお休みさせていただきます。楽しみにお待ちいただいた皆様、大変申し訳ございません。

ボーン　ありがとう

ブログではすでにお伝えさせていただいたのですが、小須田牧場のボーンが４月末に亡くなりました。２６歳、高齢とはいえ寂しい思いでいっぱいです。

ボーンといえば、その得意技「頭絡抜き」を思い出します。繋ぎ場にいる時に、頭絡をつけてちょっと目を離すと・・・次に見たときにはもう頭絡を外していました。（どうやら、頭絡かけを器用に使用しているもよう）また、その技を生かし、なんと草競馬出場中に走りながら頭絡を抜いたという伝説（？）も持っています。

そんないたずらっこのようなボーンも、子どもたちには優しく、大人気でした。ウマキャンプでも、参加したほとんどの子どもたちが１回はボーンに乗ったのではないかと思うぐらい活躍してくれました。反動が大きいことが、かえって軽速歩の練習にはもってこいでしたし、フリー騎乗でも真面目なボーンは、子どもたちのチャレンジを支えてくれていました。

ボーンは子どもたちの心の中でずっと生き続けてくれることと思います。たくさんの思い出をありがとう！

今頃は、天国で仲の良かったシーザーと遊んでいるかな・・・。ボーン、どうか安らかに。

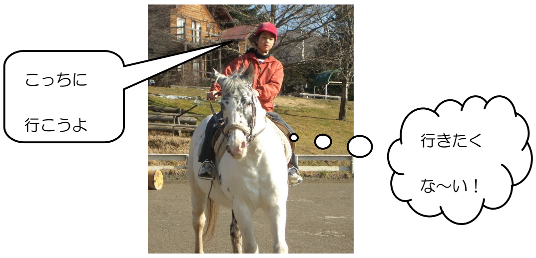
馬が教えてくれること⑤

～失敗しても大丈夫～

ウマキャンプでの乗馬は、裸馬体験、レッスン、フリー騎乗の３つのタイプがあります。中でもフリー騎乗は子どもたちの憧れであり、難易度も高くなります。

フリー騎乗では、乗馬技術だけではなく、馬に自分の意志を伝えるという、馬とのコミュニケーションが重要になってきます。子どもたちは乗馬前に各自で目標を決めるのですが、乗る馬によって対応が異なったり、一筋縄ではいかない難しさがあるため、１回で目標を達成することはとても難しくなります。多くの子どもたちが「失敗」を体験するのです。初めのうちは、うまくいかなかったことに対して、「馬が言うことを聞かない」など、馬のせいにしがちになります。でも、同じ馬に他者が乗っている様子を見たりすることで、自分の問題として捉えられるようになってきます。さらに、個人やキャンプメンバーで振り返りの機会を持つことによって、子どもたちはどうすればうまくできるかを考えるようになります。そして、その次にうまくできたときには、大きな達成感と自信を得ることができます。そのような中で、失敗から学び、再び挑戦する力を身につけていきます。

誰でも、失敗はしたくないでしょう。でも、失敗のない人生はあり得ません。失敗を避けるよりも、失敗から学び、立ち直る力をつける方が大切だと思います。馬は共に困難を乗り越えるパートナーとなり、子どもたちに安心感と勇気を与えてくれるのです。



馬のおもちゃ②　ロッキング・ホース

アメリカのおもちゃメーカー、Ｓａｓｓｙ（サッシー）のロッキング・ホースです。下に吸盤がついていて、テーブルの上などに固定できます。説明書には、いすに座る練習をするときなどに使うといいと書かれていました。娘が生まれるずっと前に、かわいいからと（自分用に？）買っていました。娘に見せてみると、カラフルな馬がゆらゆらと揺れるのが面白いらしく、釘付け！自分でも手を伸ばして揺らしてみたり、馬の顔やたてがみ、しっぽなどをなめたりして楽しんでいます。

おすすめの本

『こうま』　小野寺悦子文　／たしろちさと絵

福音館書店

「こうまがうまれたよ」で始まり、こうまが成長していく様子が描かれています。「こうまはたったよ、たった、たった、たったよ」とリズミカルな文章で楽しく読むことができます。最後は「こうま　おやすみ　また　あした」　寝る前に読むにもいい絵本です。母馬の、こうまを見守る優しい瞳がとても印象的です。

馬のデータ（２）

乗用馬が一番多い都道府県は千葉県（1,365頭)、第2位は北海道（1,339頭）でしたね。ちなみに、一番頭数が少ない都道府県は秋田県の３４頭です。

では次に、乗用馬が活躍する乗馬施設の数をみてみましょう。乗馬クラブ数第１位は北海道で 97 カ所、みなさんの予想通りかもしれませんね。第２位は埼玉県で 63 カ所、第３位は千葉県で５８カ所です。また、大学や高校で馬を飼っているところは、多い順に、東京都が 13校、神奈川県が 10校、北海道が 7校となっています。乗馬クラブと大学、高校を合わせた数を地域別で見てみると、第１位は関東地方で 406 カ所、第２位は九州地方で 108 カ所、第３位は北海道で１０４カ所です。

では、乗馬人口はどうなっているでしょうか。乗馬クラブに所属している会員数をみてみると、第１位は何と兵庫県で 8,525 人、第２位は北海道で 8,194 人、第３位は千葉県で 6,516 人となっています。ただ、この資料にはなぜか東京都の乗馬人口が掲載されていないので、順位は正確でないかもしれません。地域別ではやはり関東地方が第１位で 25,712 人、第２位は近畿地方で 16,123 人となっています。

参考文献：「馬関係資料」平成 24 年３月　農林水産省生産局畜産部畜産振興課

編集後記

心地よい春はあっという間に去り、例年より早く梅雨入りしました。

娘は５ヶ月になり、体重は６キロを超え、すくすくと成長しています。手を上手に使えるようになってきたため、いろいろなおもちゃを握ったり、なめたりするのが楽しいようです。初めはうまくつかめなかったおもちゃでも、試行錯誤を繰り返し、工夫し、日を追うごとに上手につかめるようになります。さらに、気に入ったおもちゃなら、少し遠くにあっても、手を伸ばして取ろうとします。この時に大切なのは、ちょっと頑張れば握れるようなものを準備し、そして必要ならほんの少し手助けすること。何度もチャレンジして、うまくつかめた時はとても嬉しそうです。このような様子を見ていると、何歳であっても、本人の「やってみたい」という気持ちを引き出す環境を作り、そっと見守ることが大切なのかなと感じます。

（峯﨑　友香理）